

巻頭特集

自然の色って優しいね

とつておきの 草木染め

草花や石などから染料をつくり、

衣服や生活用品を染め、

季節の色を取り入れた暮らしを楽しむ。

そんな昔ながらの

体験ができる「アトリエのの」。

自然が一層色づく秋、

大地の恵みを感じる草木染めを、

美濃加茂市在住の井戸さん親子が体験したよ！

お家でもたくさん
お手伝いしているよ！
今日も頑張る！



体験したのは

(美濃加茂市在住)
井戸麻奈美ママ
なみき
菜幹ちゃん(3)
ひろむ
寛武くん(1)

教えてくれたのは



「森の染織工房
アトリエのの」
田口 寿子さん

揖斐川町春日に移住し、3人の子育てをしながら、「森の染織工房アトリエのの」で染色の体験指導をする。自然暮らしのプロフェッショナル。

草花から

染料材料をつくり、模様を考えるよ

1 染料材料を探そう



ヨモギだよ、おいしー！

ヨモギ

3 楽しい模様づくり



使う材料はこちら！

葉っぱを煮出して染料材料づくり

森の中にある「アトリエの」にやってきた菜幹ちゃんや寛武くん、珍しい虫を見つけたり、草花を摘んだりして大はしゃぎ。田口先生が「染められる草を探そう」と声をかけると、一緒にあれこれ品定め。

2 葉っぱを煮出すよ



煮出し用のポウルに入れ替えてからしばらく煮出すよ

ギュッと縛ったり、しっかり布を挟んだ部分は、染料材料が入らないよ。だから模様ができるんだ



ゴムだけで

木のスプーンと洗濯ばさみで



洗濯ばさみも、洗剤は使わない



どんな風に染まるか、楽しみ！

「草餅」に使われるヨモギが染料材料になることを教えてもらい、ヨモギをたくさん摘むことに。初めての香りを体験した寛武くんは、なんとも言えない表情だ。まずはヨモギを水に入れ、煮出す工程から。いつも麻奈美ママのお手伝いをしてる菜幹ちゃんは、水をポウルに移し変える作業を率先。煮立ってくると「おいがしてきたよ」と井戸さん親子。田口先生からポウルが熱いことを教わり、注意深くのぞき込む菜幹ちゃんは「これが葉っぱの色？」と興味津々。ヨモギを煮出すと渋い黄色の染料材料が取れるのだ。煮出している間に、素材選びと模様づくり。洗濯ばさみやビー玉など、身近なもので模様がつくれることを知り、早速、菜幹ちゃんはビー玉を手にした。「どんな色や模様になるのかな？」と、期待を込めて、煮立った液に布をそっと浸した。

自然の魔法でステキに変身！

4 色の变化に驚き！

煮出したら、水の色が変わったよ



こんな色になるんだ！

6 ドキドキ！模様が出てくるよ



わーあ！すごい！

フタARで、染めた布を見てみよう

ビー玉や輪ゴムを全部取ろう

偶然から生まれる唯一無二の模様

染料材料から素材を取り出して、一度洗い作業へ。ここは、菜幹ちゃんのお手伝いポイント。水で洗ってから上下に振って脱水。水で洗わないように、媒染剤に漬けて、水洗いを繰り返す。最後にもう一度染料材料に漬けて煮出し、染め作業は終了。すべての工程で大活躍の

7 私の染めた服、ステキでしょ！



とってもおじやね！

「植物からこんなにキレイな色が出るなんて、驚きですね」と麻奈美ママ。「この模様は私がつくったんだよ。すごいでしょ」と、菜幹ちゃんは誇らしげにTシャツを広げた。「本当に大活躍！娘の頼もしい姿を見られてよかった」と麻奈美ママもほほ笑む。「魔法みたいだったね。早く着たいな」と、愛しそうに作品を胸に抱く菜幹ちゃんだった。

田口さんの移住よもやま話

田舎暮らしは手間暇かけて「生きる力」を生み出す暮らし

田口さんが春日美東に住み始めたのは14年前。「アトリエの」で染色体験を手伝うと共に、同じく移住してから出会ったご主人の龍治さんと、麻にこだわったものづくりを家業に営み、活動する。

「山の中なので、モノは限られます。自然の恵みに感謝して、身の回りにあるものから知恵、技、道具を生み出す力が人間にはあります」。自宅の「麻処さあさ」では薪で火を焚き、山で採った草から染材料を煮出し、谷の水で洗う。食事のほとんども山の恵みでまかなう。時間はかかるけれど、かけがえのない暮らしのひと手間だ。現在は3人の子どものママ。「子どもたちにも、自然の恵み、感謝の気持ちに身についている



木を使って火を焚く。昔から伝わる方法を次世代に残す

ことがうれしいですね」と笑顔で話す。

「日本人の暮らしは、自然の恩恵を受けています」と田口さん。「山、海、すべてはつながっています。この土地で使った水が海に流れていることを考えると、自分たちの暮らしを見直す必要があります。自然に感謝し、ないものは創り出す。少しずつですが、美東の文化、暮らしを私たちが受け継いで、次世代につないでいきたいですね」



収穫した米も、自分たちで脱穀。愛溜もひとしお



上空から見た美東地区は、棚田が美しい

WEB [www://asadocolo.com](http://asadocolo.com)

DATA

住所	揖斐川町春日美東1902-112
TEL	0585-58-3111 (長者の里内)
休み	水曜(祝日の場合は翌日)、12月中旬～3月下旬 冬期休館
開館時間	9:00～17:00(受付は14:00まで)
入場料	無料(要予約) 染色体験料(材料費込み) ハンカチ、トートバッグ、バンドナ、スカーフ、テーブルウェアなどもあり。布の持ち込みは別途料金にて可能。

春日の葉草や季節の野草で染色体験

森の染織工房 アトリエの

キャンプ場や森の文化博物館が一体となった「長者の里」敷地内にあるアトリエ。染材料となる植物を自分で採集して染色体験をする「1日体験コース」や、アトリエが用意した染材料から染色体験をする「3時間コース」など、個人の要望に合わせて対応してくれる。



◀このマークを見つけたらスマホでチェックしよう!

スマホをかざせば

動画が見える! フリモAR

まずはアプリをダウンロード!



対応OS
iPhone: iOS 8.0 以上
Android: 4.1 以上



※バージョンが満たないiOSはアップデートが必要です

- 1 フリモAR®アプリをダウンロードして起動
- 2 マークがついた写真にカメラをかざすとスキャン開始
※写真の向きにあわせてカメラをかざしてください
- 3 スキャンに成功すると動画がスタート!

右記の二次元コードまたは対応アプリストアよりダウンロードください。

※ Apple および Apple ロゴは米国その他で登録された Apple Inc. の商標です。App Store® は Apple のサービスマークです ※ Google Play および Google Play ロゴは Google Inc. の商標です